

シルバー 人材センター会報

社団法人
流山市
シルバー人材センター
事務所
流山市東初石3-103-18
電話
0471-55-3669

【わたしたちの仲間 400】

この表は1月31日の会員を干支に分類した数字です

<p>子  33 節約家で貯蓄心旺盛</p>	<p>丑  28 辛抱強くどこまでも押通す</p>	<p>寅  36 果敢決断よく成功する人多し</p>
<p>卯  33 温和従順で交際巧み</p>	<p>辰  33 運勢強く人の長となる特質あり</p>	<p>巳  35 几帳面で我慢強い</p>
<p>午  31 任侠の気風あり世話好き</p>	<p>未  36 穏健正直で慈善心に富む</p>	<p>申  41 機敏頓才に積極性あり</p>
<p>酉  37 思慮周到で世渡り上手</p>	<p>戌  30 正直で義理固い</p>	<p>亥  27 忍耐強く向上心に富む</p>

新評議員紹介



評議員
穴倉安三郎



評議員
石塚孝三



評議員
宮崎三郎



評議員
吉野芳矩



評議員
松山秀雄

評議員会委員名簿

役職名	氏名	住所	電話
委員長	松山秀雄	流山市松ヶ丘2-330-116	43-1462
副委員長	吉野芳矩	〃 芝崎303-1	58-3901
委員	宮崎三郎	野田市宮崎4	22-6780
〃	石塚孝三	流山市前ヶ崎465	44-4635
〃	穴倉安三郎	〃 江戸川台西1-195	52-4511

(単位:円)

月	受注延件数	就労延人員	受注金	配分金	材料費	事務費
4	133	3,097	12,197,023	11,002,855	482,673	711,495
5	164	3,230	14,148,234	12,860,143	356,944	931,147
6	187	3,756	17,466,107	14,858,302	260,574	2,347,231
7	188	3,917	16,808,531	15,164,244	617,278	1,027,009
8	174	3,707	15,188,314	13,751,381	498,534	938,399
9	182	3,394	14,482,305	12,717,020	809,003	956,282
10	219	3,505	15,375,635	13,629,485	764,373	981,777
11	214	3,400	15,281,593	13,678,422	638,762	964,409
12	172	3,101	13,820,957	11,879,073	764,127	1,177,757
計	1,633	31,107	134,768,699	119,540,925	5,192,268	10,035,506

平成5年度同期実績

	1,424	28,916	121,011,592	108,719,537	5,090,306	7,201,749
--	-------	--------	-------------	-------------	-----------	-----------

平成六年度十二月末現在
事業実績報告

あの瞬時の
緊張感が

1地区 寺尾 正巳

「歳月人を待たず」と言いますが、昨今の私にとって毎日、いや一年の過ぎ去るのがなんと早い事かと、いささか慌てております。そして、自分の人生の中で「やり残し」は無かったか?などと、おおげさなものでは無く反省もしています。この頃は若さがまた戻ってきた様です。

それは月のうち、わずかですが、管理員として「勤労青少年ホーム」で第二の人生についているのが要因かも知れませんか?サークルその他このホームを利用される若い方々との接触が多く、親近感もわき、自然と、若いエネルギーを吸収しているのかと思われしくなります。

そして、もう一つの収穫、出勤の朝の緊張感「サーア」今

日もやるぞ”あの瞬時の緊張感は何ものにも変えられなくたまらないのです。

仕事としては、技術を要求

されるものと違い、年をとってからでもその気になれば、すぐ順応することができ、頭も体も自然と使うので、精神的、肉体的に充実した毎日が送れ、自分なりに頑張らなくては、と思っております。

一にも二にも健康であること、年齢に限らず、すばらしい笑顔が表現できるためにも自分の体は「自分自身で守るのだ」と心掛けたい。

偉そうなことを並べてみても「しゃれ」にもならないと思いつつ、だが、少しでも社会のための一助となれば、働ける限りこの仕事に励んでいく心掛けであります。

さて、昨年あたりから当センターへの加入者が多いと聞きますが誠に結構な事、会員の皆様、頑張りましょう。

若返った
今日この頃

8地区 河野 通夫

「きんさん・きんさん」の記事が週刊朝日に掲載されていた。それによれば、

きんさんも、きんさんもテレビコマーシャルに出演する以前は、ほとんど外出もせず、ただ々一日中、広縁に座っているだけの毎日だったとか。

マスクミの取材が多くなりそれにつれて顔の表情、頭の回転など、あらゆる面で機能が若返ってきたとのこと。これは、人との会話による刺激、前向きな姿勢による物事の考え、などの相乗効果による老化現象の鈍化と考えるが、違うだろうか。

在職中であった我が人生を振り返ってみれば、事業目標を設定し、労使協調路線推進をはかり、目標達成に努める充実した生活をしてきた。

現在は、精神的、肉体的にもあの頃には及びもつかないが、シルバー人材センター紹介の仕事に励むことを目標として日常生活を考え、充実した余生を送るための努力をしているが、きんさん・きんさん同様、若返った感がする。

例えば、勤務を休むと迷惑をかける事になると思えば、風邪ひとつ引かない様になった。

また、配分金をいただき、なんとなく「ゆとり」を感じ年に数回は愛妻と旅に出て四季おり々を楽しんでいる。

一方、勤務先では、いろいろな方々との接触などで多方面からの刺激を受ける様な生活ができる様になった。

私の「心の支え」となっているシルバー人材センター、体の達者なうちは頑張ってくださいと考えております。

会員諸氏、よろしくお願いたします。

シルバー人材センター

一年生

3地区 五十嵐久敏

自由時間も大切、仕事、地の友人も欲しいと思いが、青い鳥を求めてシルバー人材センターに入会した。

仕事は、流山勤労者総合福祉センターの仕事で、受付、戸締りの確認点検、草取りなどである。

「ああ、簡単な仕事なんだなあ」と思って昨年の四月から仕事に就いた。

ところが、簡単と思った鍵の開閉一つでも慣れるまでは、いやはや大変、中々うまい具合にいかなかった。時には、点検したつもりで、点検忘れをする事が今でもある。注意の問題と反省しきり。

受け付け窓口で、施設利用の申込みの方が二・三人たまることがある。こんなとき、受付番号を打ち忘れたり、記入

事項のチェック洩れをしたり。また、初めてこの施設を利用する方には、利用方法などを教えたりするのだが、ポイントを要領よく話すことなどができなかったり、慣れるまでは結構大変だった。

草の生い茂る頃には草取りに精を出す。季節もよし、運動、日光浴にもなり気分が良いが、根をつめると翌日、腰が痛い。

回りの方々の仕事ぶりをみると「仕事は親切に、人間関係は大切に」と思っている方々ばかりであることに気付く。実に有り難い先輩だ。

月一と定めているのではないが、休館日に一杯会をやりたり、温泉センターでカラオケをしたりして意思疎通、心の触れあいの場として、楽しい時を過ごしている。

間もなく桜、一年生の季節がくる。こころ豊かに共に助けあいたい。

わたしは

自転車整理員

7地区 広坂 景勝

私は南流山駅前で自転車の整理業務に従事しております。

現在十一名で編成されていて、朝出勤すると、まず、駐輪場の清掃、前日から放置されている自転車の整理、そして駅前広場と公園周辺の清掃を行います。その清掃について少し書いてみます。

通常は一回か二回できれいになっていきますが、風の強い日には、どこから飛んでくるのか？五・六回は掃かなければ。また、雨の日には「ぬれ落ち葉」のなんとかと言われ、落ち葉のなんとかと言われ、張りますが、ピタッと地面に張りついて、ちり取りに入ろうとしないのです。

やっと終って「ああ、きれいなになったなあ」と振り返ってみれば通行中の人が、空缶や吸殻などのポイ捨て。頭に

きてしまうが、そこはそれ、「すみません。投げ捨てはしないで下さい。」と声をかけて協力を願っています。

「駕に乗る人かつぐ人、そのまた草鞋を作る人」と言いますが、毎朝、清掃をしていますと、捨てる人は大体決まっているのがわかります。この場合、われわれの仕事が無くなるのが望ましいですね。

でも「お褒め」の言葉をかけて下さる方も多くなりました。「この付近は前から比べると随分きれいになったね!!」この言葉を聞くと、うれしくなりますが、捨てる人、褒めてくれる人、世の中の複雑さが見えてきます。

しかし、当センターの一員として「この奉仕作業が報われた」と思う時、その喜びは「ひとしお」です。

今後も、さらに「環境美化に微力を傾けたい」と思っております。

わたしの戦後

五十年

3地区 佐藤 仁

揚子江に近い「鄱陽湖畔」

を通過中の私の所属する部隊は、十七日敗戦を知った。在学中に召集されていたわたしたち学徒兵は、総軍の指示で単身復員して復学したが、当初の同級生は卒業しており、私を迎えてくれたのは荒廃したキャンパスのみであった。それから五十年、高度成長の時代を黙々と働き続けてきた戦中派、特に学徒兵は戦後をよく「余生」という。

戦後の日本は自由・平和・民主主義等を唱えることにより、自分は、いかにも進歩的文化人であると誇示する「やから」が多すぎた。歴史を欺まんし、国家観を持たないまま今日に至り、世界の異端者となっている。戦後日本の出発点が間違っていたのである。

戦中派の多くは、戦場に赴いて死に直面している。彼らは体験を通じて戦後の再建の主力となるべきであった。にもかかわらず、かれつな戦場の記憶にたじろぎ、また、急激な価値観の変転に驚き、さらに、死んだ戦友に何らの報いもできず戦後を生きている後ろめたさにおのずからを余生と称して現実から逃げる者が多い。

では「お前はいかに」と問われれば「私も余生」といわざるを得ない。戦後、私は防衛庁の部隊、機関に勤務したが、そこは名実ともに武器の操作を訓練する公務員の集まりであり、軍人、軍隊ではない。また、防衛産業の技術畑で働いたこともあるが、日本には個々の武器はあるがシステムとしての有効なる武器は無いという、世にも奇妙なる現象に対して何らの意思表示をすることもなく、時の流れ

に任せてきた。余生と思うからである。

今となつては戦後派と余生とてい観する者とのかけはしはないであろう。

平成六年度 会員研修旅行

6地区 植草 実

十二月八日(木)、少し寒かったが快晴・無風、まったくの好天に恵まれた旅行日和、老人福祉センター、江戸川台駅前など指定された六カ所からバスに分乗、市役所で二台のバスが合流、一路、伊東へと出発した。

流山I・Cから首都高速に入り、まことにスムーズな走り出しと思っていたら八潮を過ぎた途端、急に込みだして一寸刻みのまったくの渋滞。でも、そこは皆さん、心したものの、先ほど互助会から提供された飲みものを頂きながら日頃の仕事の話や、世間話に花が咲く。箱崎を過ぎてやっ

と動き出したかな?の感、最初の休憩予定地、港北P・Aまでが長かったこと。東名に入ってから、まったくの好調な走り、早くも静岡に。窓外には茶畑が一面に広がり、その向うに五合目付近から上と思われる富士の霊峰がクッキリと眺められる。例年なら雪化粧で迎えてくれるところだろうが、暖冬のためか(その頃は暖かい日が多かった)その姿は無い。流山付近からの姿とは、まったく変わった雄姿に接することができた。



三嶋大社

東名を沼津でバイバイして
ほどなく、昼食を予約してあつ
たシーボルトで郷土料理を満
腹に頂く。この頃ともなれば
持参したガソリンではガス欠
状態とのこと、事務局では早
速、補給に走る。

最初の見学予定である三嶋
大社へ。この神社の由緒は、
「創建された時は不明である
が、古くから三島の地に鎮座
し、三嶋大明神と称せられ、
富士火山帯の根本の神、伊豆
の国魂の神、国土開発の神と

しての信仰は
古く(中略)
「武門武将の
尊崇篤くこれ
らの奉納品多
数を所蔵して
いる。又、東
海道に面し、
下田街道の起
点に位する交
通の要衝に当
り、三嶋大明
神の称は広く
天下に広まっ
た」(三嶋大社のリーフレッ
トによる)
この大社には樹令一、二〇
〇年と伝えられる天然記念物
に指定されている「金木犀」
の大きな木があり、九月上旬から
十月上旬にかけて花が咲き、
その芳香は二里にも及ぶとの
事だが、会員各位は、この名
木に「あやかり」長寿を祈念
する。
予定外ではあったが途中、



うさみ観音をバックに

うさみ観音に
立寄り自由参
拜、この寺へ
来たのは初め
てとの人ばか
り、記念写真
を撮ったりし
て景観を楽し
んだ。
全行程七時
間のバスの
長旅と思っ
ていたが、ア
ツという間に目

的地である山平旅館に到着、
ゆっくりと一風呂浴びて旅の
疲れをいやした。
十八時、犬養互助会長・及
川会長からのあいさつで研修
に入り、松山評議員による「
健康・安全第一・共存共栄。
和やかに仕事をしよう」大要
以上の研修が終わり、待望の
宴会に入った。
酒を運ぶ途端に銚子は空と
いう急ピッチ、名司会で宴は



研修会

盛り上り美男美女の歌、踊り
はとどまる事知らず、英気を
養った。
翌日は天城高原ベゴニアガ
デンを見学、帰路につく。帰
路は渋滞もなく予定時刻に全
員無事流山に帰着した。それ
にしても平成七年の研修旅行
が早くも待ちどおしい。全員
が参加して楽しい研修旅行に
しようではありませんか。
この旅行を企画されたスタッ
フの方々ありがとう。

歩く楽しさ

3地区 田中佐紀子

久々に首都圏に舞い戻ったのが六年前。子供たちも親元を離れ、新しい土地での暮らしは寂しくて、シルバー人材センターを思いきって訪ねたのだった。還暦を過ぎての思わぬ展開に驚きながら。私の職場は流山コミュニティプラザだ。

通勤に自転車を走らせていたが、歩いてみようと思いたったのは一昨年秋のお彼岸の頃だった。

富士見台をくだり、小さな坂をのぼって左折すると八坂神社の裏手にでる。上新宿あたりは畑が拡がり雑木林が多く、点在する農家は静かなたらずまいを見せている。金比羅神社の脇から常磐道を越え、守谷街道を渡って若葉台を一気におりると、森に囲まれた

文教地区の一隅に私の職場が姿を現わす。

およそ二キロ半、三十分ほどの道のりは、格好なウォーキングコースなのだ。歩くにはナップザックと勧められ初めは抵抗もあったが、軽快この上なし。靴もウォーキングシューズとなった。

春、新緑の頃には若葉の中をかくぐり、初夏にはカウの声を聞きながら、盛夏は自転車に切り変えるが、秋ともなれば落葉を踏みしめ、その感触を楽しみ、畑一面、霜で覆われる冬の朝の冷気も捨てがたい。

四季折々に花が咲き、冬枯れの頃でも農家の庭先にサザンカの巨木が花をいっぱいにつけている。先日の帰途、真紅の夕陽が、かなたの森に落ちなんとする光景に出会った。思わず息をのんでしまった。今日も、お気に入りのこの道を楽しく歩いている。

気をつけ過ぎる事は無い

安全委員会 犬養吉胤

樹々も一斉に芽吹き、身も心も「のびのび」とする。年間を通じて一番しのぎやすい季節となりました。

しかし、この時期は、人間にも何か芽吹くものがあるのでしょうか？病気にもなりがちの様です。

そして、良い気候とあって「気のゆるみ」から事故につながる事が多発する様です。

皆様には、安全就業について常に関心をはらっていただいているところですが、更に一段と注意を払う事故に結びつかない努力をお願いし、また、くどい様ですが次の諸点について十二分に気をつけていただきたいと思います。

- 一、自転車で走行する際の安全走行。交差点での一時停止、安全確認の徹底

- 一、車の死角に入らないよう並進や、不用意に接近しない事

- 一、夜間は、なるべく明るい衣服を着用し、反射材付きのベルト着用が望ましい。自転車での無灯火走行はしない事

◎ 高齢者の自転車で走行中の事故、歩行中の交通事故は、自宅付近の地理を熟知している場所での事故が多いとか「気をつけて、気をつけ過ぎた」と、いうことは無い様です。

「今どきの年寄り」と言われない様、永年の経験を生かし、次ぎの世代へのための会員共働共助の精神で、あらゆる事故を防止し楽しく過ごす事に心しましう。

全員で

徹底した安全確認の励行

事務局便

◎ 配分金の支払日は毎月十五日(原則)となっておりますが、平成七年度の左記の月は変更いたします。

- 四月 一七日、九月 一八日
- 五月 二二日、十月 一六日
- 七月 一七日、一月 二二日

◎ 作業日報は作業終了後、速やかに事務局へ。その際二枚とも押印して下さい。

◎ 会報への投稿をお待ちしております。ご意見、ご希望、俳句、川柳、短歌など随時事務局へご送付下さい。

◎ 会員の条件とは
 一、健康で働ける人
 二、当センターの主旨を理解している人
 三、仲間と仲よく仕事ができる人

きる人

四、仕事に対して責任の持てる人

五、奉仕の精神を持っている人

六、お客さんに喜ばれる人

さて、あなたは？

staff-staff-staff

第三回理事会(九・一二)

- (1) 評議員について
- (2) 草刈機の講習会について
- (3) 配分金の変更月について
- (4) 年内の行事について
- (5) 人員配置について

第四回理事会(一一・二二)

- (1) 評議員の委嘱について
- (2) 上半期事業報告
- (3) 公共勤務場所の配置について

第五回理事会(一・二二)

(1) 平成七年度の対策について

(2) その他

イ、未就労者の現状と対応について

ロ、新入会員の面接について

訃報

石山文雄様(六六歳、五地区)には、平成六年一月八日逝去されました。

岡田なを様(七四歳、三地区)には、平成六年一月二七日逝去されました。

金子佐郷様(八〇歳、一〇地区)には、平成七年一月二七日逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

会員の動き

平成六・九一〜平成七・一三

新入会員 三三名

頑張ってください。

退会員 六名

ご苦労さまでした。

総会員数 四〇〇名

一・三一 現在

編集後記

阪神地方大震災被害者の皆様に心からお見舞い申し上げ、われ々も足もとを固めたい。

さて、今十四号は多数のご寄稿を頂きながら紙面の関係で掲載できなかった方、お許しを頂きます。今後も人生経験の中の自慢話、失敗談など

のご投稿をお待ちいたします。

編集委員長

編集委員

” ”

山田 富雄
 糸井 武雄
 安西みつ江
 土田美緒子
 事務局 佐藤 範一